



# 令和7年度 地震発生による川内原 子力発電所の重大事故を想定した 原子力防災訓練 を実施しました



日時	令和8年2月7日(土)	主催	鹿児島県, 薩摩川内市, いちき串木野市, 阿久根市, 鹿児島市, 出水市, 日置市, 姶良市, さつま町, 長島町
	7:00~18:00		
参加機関	約220機関(年度間※:約230機関)		
参加者数	約4,000人(年度間※:約6,100人)		

※年度間には、令和7年度において2月7日以外に原子力防災訓練を行った学校等の参加者を含みます。

新 は今回の訓練における新たな取り組みです。

## 能登半島地震等を踏まえた対応訓練

### 1 良好な生活環境等の確保に向けた避難所設置訓練 新

避難所において、良好な生活環境の確保を図るため、キッチンカーなどによる炊き出し、トイレカーや水循環型シャワー等の設置、また、通信環境を確保するための可搬型衛星通信設備の設置を行いました。



### 2 避難訓練

道路損壊等により車両で避難できない事態を想定し、船舶による避難訓練を行いました。



### 3 物資供給訓練 新

孤立地区の発生を想定し、ヘリによる物資供給訓練を行いました。



### 訓練のポイント

- 能登半島地震等を踏まえ、避難生活における良好な生活環境の確保に向けた訓練及び通信障害・孤立地区・断水の発生等を想定した訓練を実施
- 事故の進展に応じて、県、関係市町、関係機関が協働・連携し、地域防災計画に基づき訓練を実施
- 原子力防災アプリを含む原子力災害時住民避難支援・円滑化システムの活用

### 4 無人航空機によるモニタリング

環境放射線モニタリングポストの欠測を想定し、無人航空機による測定を行いました。



### 5 その他

- 断水地域での屋内退避を想定した給水車による応急給水
- 避難計画上の避難先へ避難できない事態を想定した代替の避難先への避難
- 通信障害時における電気通信事業者による移動基地局車等の設置  
などを実施しました。



### 原子力防災アプリを活用した訓練

- 自治体からの避難に関する情報などを配信
- 一時集合場所や避難所でのQRコード読み取りによる受付登録
- 避難退域時検査場所での受付登録
- 安定ヨウ素剤の配布状況の登録

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

令和7年度原子力防災訓練については、  
県のホームページに掲載しています。

鹿児島県 令和7年度原子力防災訓練

検索

